

日本原子力学会核燃料部会

平成16年第2回運営委員会議事録

日時 : 平成16年7月15日(木) 11:45~13:00

場所 : 洞爺サンパレスホテル2階 原生林

出席者 : (順不同 敬称略)

山脇部会長、森副部会長、後藤殿(安部田委員代理)、伊東委員、大沢委員、平井委員、木下委員、大澤委員、木原委員、佐藤委員、杉崎委員、萩委員、日高殿(更田委員代理)、森山委員、山中委員、佐藤殿(米田委員代理)、高阪殿(和田委員代理)

議事

1. 前回議事録確認

山脇部会長より前回議事録が報告され本運営委員会にて承認された。

2. 運営委員の交代について

山脇部会長より東電の北村委員から大澤委員への委員交代が報告され、本運営委員会にて承認された。

3. 軽水炉燃料専門家会議(2005年)開催について

木下委員から資料3にて報告された。

・7月9日(金)に電中研にて開催されたプログラム委員会・幹事会での協議結果が報告された。プログラム案は以下の6つ。日本の特徴として基礎部門に重きを置いている。

1. Advances and Innovations in Nuclear Fuel Design and Fabrication
2. Advanced Concepts of Water Reactor Core and Fuels
3. Fuel Performance and Operational Experience
4. Fuel Cycle, Spent Fuel Storage and Transportation
5. Transient Fuel Behavior and Safety Related Issues
6. Science and Fundamental Aspects of Fuel Performance

・事務局業務への短期事務担当者の雇用や、原子力産業会議との連携について協議した。
・欧州・米国・日本(アジア)の持ち回り開催については、ENS/ANSと/AESJ, KNS, CNSの5者でMOUの締結することの合意が中国も含め得られた。署名は手続き中であるが、2005年京都会議を手始めに欧州、米国、アジア圏で持ち回りとし、アジア圏では3年ごとの開催となる。
・JNES林委員様からメール送信されてきたよりCall For Paper案が紹介された。
・ロシアや東欧の方の招聘も必要であるから、「国際交流基金」等を通じて費用についてはある程度考慮してもらえるように学会側と折衝する。
・プログラム委員については、海外委員を含めて見直しを検討中

4. 部会HPについて

木原委員から資料4にて報告された。

・各部会のHPの構成を調べたが、核燃料部会のHPは遜色ないと思われる。また、リストアップされた他部会の特色を参考にして、当部会の独自性(例えば「海外交流」や「ニュース」)を出す様)検討する。

前回(平成16年5月19日)以降の改訂内容は次の通り。

- ・第19回核燃料夏期セミナー(フライト案)を追加:6/3更新
- ・日韓中合同セミナーのプロシーディング紹介を追加:6/3更新
- ・第19回核燃料夏期セミナー(プログラム)を追加:6/24更新
- ・第19回核燃料夏期セミナー(参加予定者へのお知らせ)を追加:7/2更新
- ・運営委員会名簿(和・英)の更新:7/2更新

今後の予定は次の通り。

- ・H16年第1回核燃料部会運営委員会議事録(5/19)の更新
- ・H16年第2回核燃料部会運営委員会議事録(7/15)の更新
- ・第19回核燃料夏期セミナー報告の追加
- ・メーリングリストへの部会員登録

5. 学会秋の大会での企画セッションについて

杉崎委員より資料5により紹介された。

- ・ATRおよびGCR燃料の開発と燃焼実績で2件が挙げられた。
 - ATR燃料の開発と実績 大島博文(核燃料サイクル開発機構)
 - 東海炉燃料の使用実績 青田尚士(日本原子力発電)
- ・日中韓のProceedingsは来年3月まで学会が販売することとした(3000円)。また、メーリングリストにてProceedingsの販売連絡をした。
- ・座長は森副部長にして頂く方向で調整をすることとした。

6. 来年春の大会での合同セミナーについて

- 森副部長より資料6にて報告された。
- ・担当は核融合工学部会となる。テーマなどは未定。
- ・中国の招聘は予算的に難しい。
- ・韓国原子力学会からの招聘案内が8月にあると思われるが、核燃料部会からの参加者を選ぶ必要がある。

7. 学会誌への連載講座について

- 森副部長から資料7にて報告された。
- ・6月号まで発行されて、7月号はまもなく出る。8月号は編集委員の堀田さんに見てもらっている段階。何度も言っているが、工学部の学生わかる程度の、易しい文章としてもらいたい。

8. 核燃料部会の活動(基準、規制関係)について

- 森副部長より資料8にて報告された。
- ・活動案として基準規格関係や、核燃料の開発研究への提言等が挙げられた。
- ・学会として社会に役に立つ活動であるから、有志で検討を続けることとした。

9. 部会報の企画立案状況について

- 萩委員より資料9にて報告された。
- ・現状は白紙であるが、ほとんど時間がない状態。12月発行としているが、年度単位であるため12月からそれほど遅くない時期に発行したい。
- ・執筆者案、または執筆者の検討と著者へ最初の依頼者をして頂く運営委員の案については、萩委員より提案を出すこととした。

10. 旅費・謝礼等の内規について

大澤委員より資料10にて紹介され、本運営委員会にて承認された。なお、あらかじめメールにて確認されており、夏期セミナーもこれを仮運用している。

11. その他

- 大澤委員より核燃料部会収支実績(資料11-1)、部会員の推移(資料11-2)、委員名簿(資料11-3, 4)が紹介された。
- ・収支実績は昨年度の部会報の費用が278,948円(5月)、60,605円(6月)となっている。
- ・会員数の推移は3年で20名ほど増えている。

後藤殿(安部田委員代理)より資料11-5を用いて、来年度夏期セミナーについて紹介があった。

- ・来年度の夏期セミナーはH17年7月7日(木)~9日(土)である。開催場所はメールにて候補地をしぼり、次回運営委員会に反映することとした。

今後の予定

- ・平成16年度第3回運営委員会と会員総会
平成16年9月16日 秋の年会時(於 京都大学)
- ・平成16年度第4回運営委員会(平成16年12月開催予定)

以上

過去の運営委員会議事録一覧

[もどる](#)